

金町駅周辺地区まちづくりプラン【骨子案】



■ 背景・目的 ■

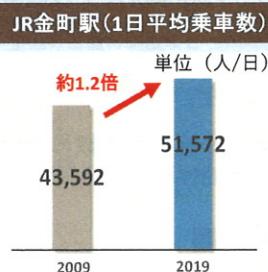
金町駅周辺地区では周辺開発に伴う人口や駅利用者の増加により、理科大学通りの歩道や駅前広場の狭さが顕著となり、歩行者等の安全性が低下しています。また、歩行者空間の不足や利用者の回遊が乏しいことからにぎわい低下が懸念されます。

こうした状況を踏まえ、区と「金町駅北口周辺地区まちづくり協議会」の協働により『金町駅北口周辺地区まちづくりヴィジョン』を策定し、まちづくりに取り組んできました。

本プランは、上記社会情勢の変化や『まちづくりヴィジョン』の方向性を踏まえ、より具体的な取組として将来像を示します。

■ 地区の現況 ■

- ・人口、鉄道利用者（JR金町駅）
⇒増加傾向
- ・商業の年間販売額
⇒減少傾向

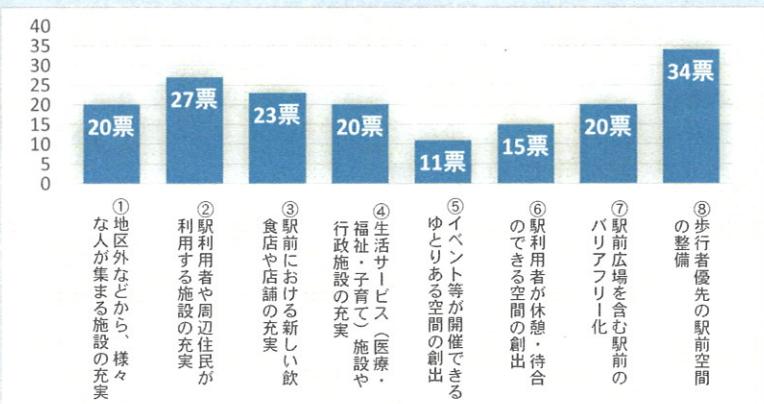


■ まちの声 ■

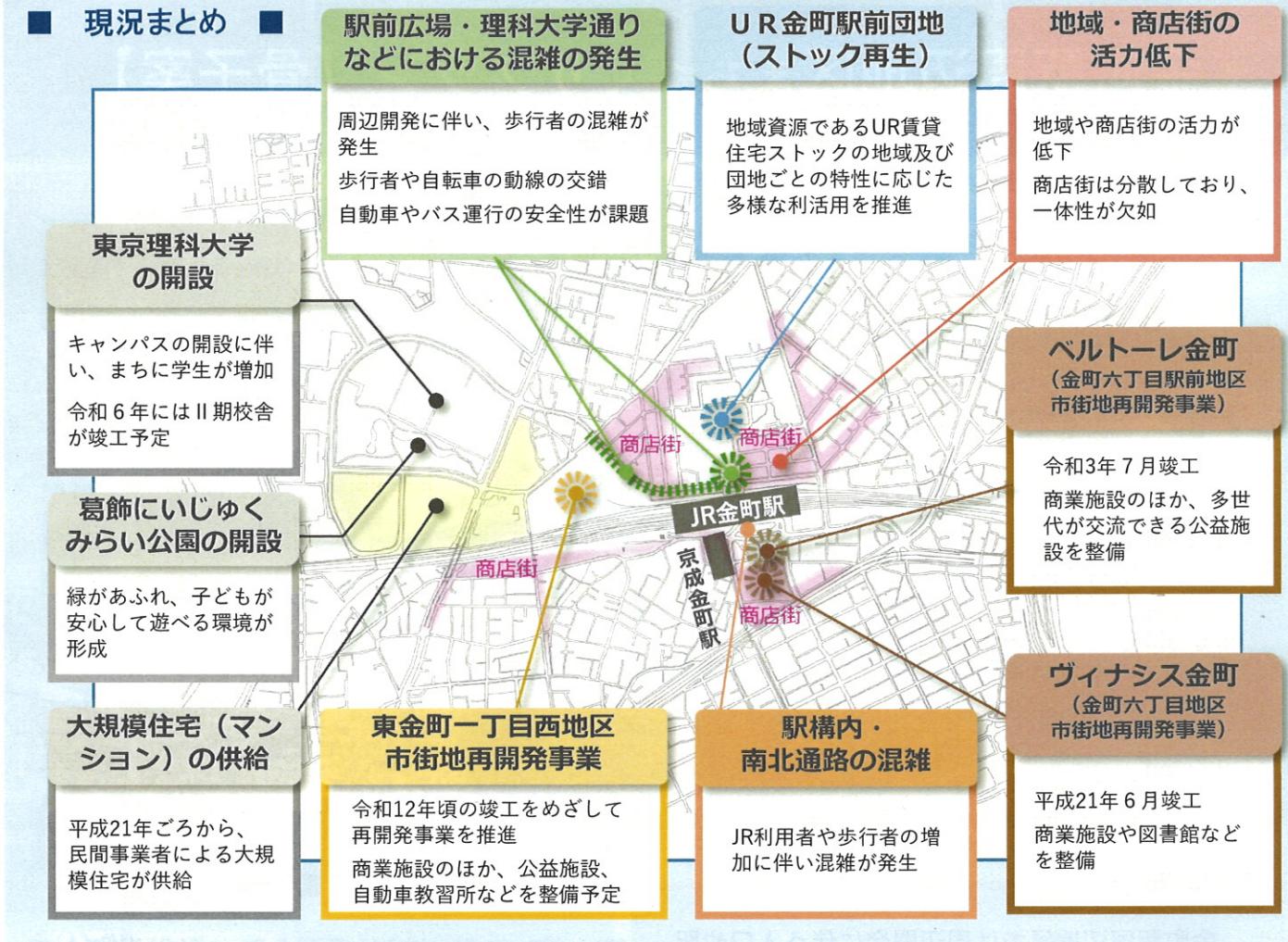
本プランを策定するにあたって、地域の方々から意見を伺ったところ、以下のような結果になりました。

- ・JR金町駅・京成金町駅の駅舎
 - ・駅北口駅前広場
 - ・理科大学通り・しょうぶ通り
- ⇒上記3点の現状について、約8割の方が不満もしくはやや不満と回答
- また、駅周辺が今後どのようにになってほしいかについては、右図のとおりの結果になりました。

■ 駅周辺が今後どのようにになってほしいか



■ 現況まとめ ■



■ ハード面に係る課題 ■

課題1 安全・安心で快適な移動環境の形成

- 歩行者、自転車利用者等の安全・安心を確保しつつ、快適な移動環境の形成が必要
- 駅利用者や歩行者等の安全性確保や利便性向上に向けた取組が必要

課題2 地域の活力をけん引する拠点機能強化／沿道のにぎわい形成

- 地域のにぎわいや利便性向上に向けて広域拠点型商業・業務・サービス拠点の形成が必要
- 既存商業の活性化を図るため、回遊性の向上、にぎわいの連続性確保が必要

課題3 景観形成・回遊性の向上

- 地域の回遊性を高めつつ良好な景観の形成、商業等のにぎわいの連続性確保が必要

課題4 各種災害への備えの充実

- 首都直下地震や激甚化する豪雨などに備えるため、ハード面・ソフト面一体となった取組が必要

■ ソフト面に係る課題 ■

課題5 商店街の活性化／人材育成／協働のまちづくり／地域交流の推進

- にぎわい形成や良好なコミュニティ形成を図るために、日常的な交流の推進が必要
- 区民協働のまちづくり推進による地域の持続性確保が必要

課題6 地域サービス・住環境の向上

- 子育て支援・福祉の充実、生活利便の向上等を図り、居住環境の維持・向上が必要

■ めざすべき将来像 ■

当地区の位置付けや現況、地区の課題を踏まえ、めざすべき将来像を以下のとおり設定します。

あした 明日へツナグまち 金町

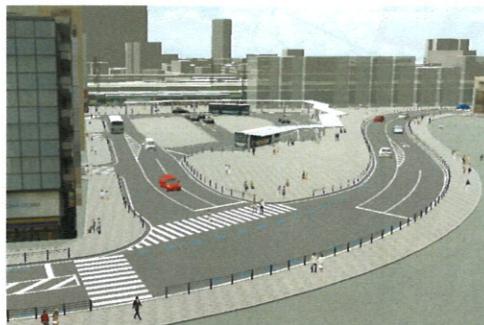
水元公園や柴又、都心や千葉方面へ繋がる玄関口としての交通基盤や機能を更に充実させ、人と人の繋がりを承継させながら、地域の活力を「明日へツナグ」持続可能なまちづくりをめざします。

■ ハード面に係る基本方針・取組 ■

将来像
1

快適に移動できる交通環境づくり

- ・快適な移動環境の形成に向けて、基盤整備の推進
- ・歩行者・自転車・自動車が快適に移動できる環境整備
- ・基盤整備と一体でバス路線の再編等
- ・シェアサイクルの整備
- ・自動運転技術等導入時における駅前のあり方

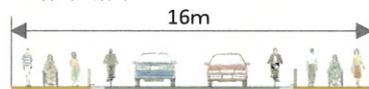


■イメージバース

取組

- ① J R 金町駅の改良
- ② 南北交通の拡充
- ③ 公共交通網・交通ネットワークの充実
- ④ 基盤整備の推進
- ⑤ 自転車駐車場の整備、再配置

■標準断面



凡例
地区計画区域
地区整備計画区域
対象範囲

将来像
2

地域の活力を高めるための にぎわいづくり

- ・地域の活性化に向け、民間等の開発計画の誘導を図り、拠点性を強化
- ・低未利用地の解消及び利活用、滞留空間の確保

取組

- ① 市街地再開発事業の推進
- ② UR金町駅前団地ストック再生の計画誘導
- ③ 低未利用地の解消
- ④ 滞留空間の確保



将来像
3

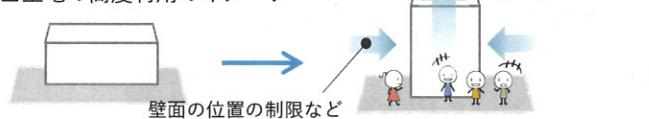
居心地が良く、 歩いて楽しいまちづくり

- ・商業の充実・連続性確保による回遊性の向上
- ・理科大学通り・しょうぶ通りの沿道土地利用を検討し、魅力ある歩行者空間を形成
- ・地域に開かれた滞留空間の確保

取組

- ① UR金町駅前団地ストック再生と連携したにぎわいの連続性確保、回遊動線の形成
- ② 基盤整備と一体の景観形成

■土地の高度利用のイメージ



将来像
4

安全に安心して住み、 活動できる環境づくり

- ・減災の取組を進め、ハード・ソフトの両面から地域の防災機能向上

取組

- ① 防災機能の向上
- ② 事前防災の推進

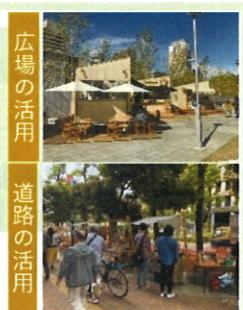
将来像
5

地域の魅力を発信し、 持続していくけるまちづくり

- ・持続可能なまちづくりに向けて、地域交流の推進、次世代の担い手育成、地域の魅力発信を推進
- ・平時の交流による地域コミュニティの形成とあわせて、災害時の自助・共助意識を形成

取組

- ① まちづくり組織による計画・運営（エリアマネジメント）体制の構築
- ② 地域の担い手・活動団体の育成
- ③ 情報発信機能の強化
- ④ 防災意識の醸成、共助の推進
- ⑤ ソフト施策による各拠点間の連携推進



将来像
6

金町らしさの承継と発展する まちづくり

- ・文教地区のにぎわい等を承継、発展させながら、各種まちづくりと一体的に、便利で住みやすい住環境の形成

取組

- ① 地域サービスの維持・向上
- ② 学生や若者と協働した地域コミュニティの形成
- ③ “新しい生活様式”への対応

■ 取組のまとめ ■



■ 取組推進に係る段取り(ロードマップ) ■



葛飾区都市整備部都市計画課 金町街づくり担当係

住所：葛飾区立石5-13-1 TEL：03-5654-8346

金町駅周辺地区まちづくりプラン（案）に係るアンケート結果

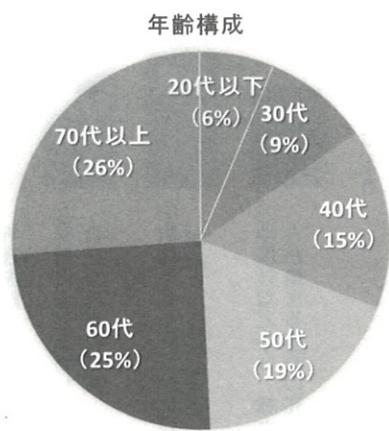
■住民説明会来場者数

令和2年 12月19日（土）53名

令和2年 12月22日（火）38名

■アンケート回答者の年齢構成

<アンケート回答者数>67名



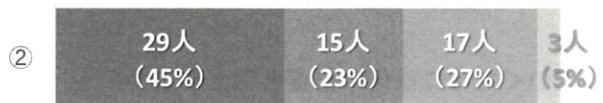
■アンケート結果

(1) 現在の金町駅周辺について、どの程度満足していますか？

それぞれ当てはまるもの1つにチェックをつけてください。
またその理由についてもご記入ください。

■不満 ■やや不満 ■やや満足 ■満足

0% 50% 100%



<代表的なご意見>

① JR金町駅・京成金町駅 駅舎について

- 改札が少ない
- 狭い
- 出入口が少ない
- 古い

② 駅周辺の南北交通について

- 南北通路が狭い
- 改良してほしい
- 南北通路が少ない
- 南北通路の自転車が危ない

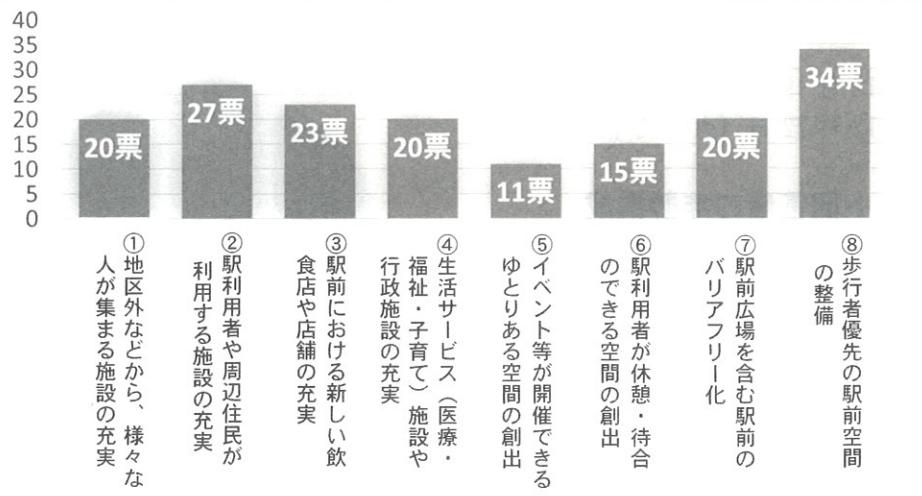
③ JR金町駅北口の駅前広場について

- 広場全体が狭い
- ロータリーが狭い
- 歩道が狭い
- バス待ちの人と歩行者が錯綜する

④ UR金町駅前団地について

- 古い
 - 敷地を有効活用してほしい
 - 景観が悪い
 - 団地があるため往来がしにくい
- ### ⑤ 理科大学通り・しょうぶ通りについて
- 歩道が狭い
 - 歩行者が多い
 - 路上駐車が多い
 - 歩道も車道も狭く自転車が安全に通れない

(2) 金町駅周辺は今後、どのようにになってほしいですか？
特に重要な項目3つにチェックをつけてください。



<その他のご意見>

- ・自転車専用レーンの設置
- ・防災設備の設置
- ・治安の向上
- ・駐輪場の充実
- ・宿泊施設の充実
- ・文化の活性化

(3) 今後、金町駅周辺を活性化していくためには何が必要と考えますか？

ご意見等がありましたら、以下の欄にご記入ください。

<特に多いご意見>

- ・駅前店舗の充実
- ・駅前ロータリーの拡張整備
- ・新金線の旅客化
- ・UR 金町駅前団地の再開発
- ・東京理科大学との連携
- ・南北通路の改善
- ・パーク＆ライド施設の充実
- ・駅出入口の増設
- ・駅改札口の増設
- ・植栽の整備

(4) 金町駅周辺の魅力について、効果的に発信していくためには何が必要と考えますか？

ご意見等がありましたら、以下の欄にご記入ください。

<特に多いご意見>

- ・SNS、TV、YouTube 等メディアの利用
- ・商業施設の充実
- ・東京理科大学との連携
- ・イベントの開催
- ・街の特色の明確化

(5) その他、ご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。

<特に多いご意見>

- ・駅前広場、理科大学通りの早期整備
- ・南北アクセス路の整備
- ・避難場所の整備
- ・歩行環境と自転車通行帯の充実
- ・水元公園の整備
- ・エリアマネジメントの検討
- ・学生や若者のまちづくりへの参画
- ・スピード感を持った街づくり